

## Q 28 反復着床不全かどうかを調べる検査とはどのような検査でしょうか

**A** 妊娠には「ヘルパーT細胞」という細胞が関連します。ヘルパーT細胞には異物に反応する「Th1細胞」と、アレルギーに反応する「Th2細胞」があり、この2つによって免疫のバランスを保っています。血液または子宮内膜でTh1とTh2の割合を検査すると、反復着床不全の診断に有効となる可能性があります。複数回の良好胚移植で妊娠が成立しない場合は、血液検査でTh1/Th2を調べるのが検討されます。

### 妊娠の鍵となる免疫バランス

人間には体を守るため、外部から侵入しようとする細菌やウイルスなどに対して免疫反応が働きますが、こうした免疫反応は妊娠の成立にも大きく関係しています。胚が子宮に入ると、母体にとっては“異物”であるため免疫反応が起こります。しかし、母体の免疫反応を低下させることによって、異物である胚に対する免疫反応を起こさずに着床することが可能になります。通常、妊娠時は異物に反応するTh1の働きが弱まり、アレルギーに反応するTh2の働きが強くなります。反復着床不全の患者さんでは、Th1/Th2の値が高くなるといういくつかの報告があります。

### Th1/Th2は解明されていないことが多い

Th1/Th2の比率を調べるため、さまざまな方法が試みられています。しかし、血液検査での測定がいいのか、子宮内膜の検査がいいのか、また、いつ調べるのか、測定値はどの程度を正常と考えればよいのかなど、解明されていないことが多いのが現状です。Th1/Th2の測定が不妊治療や反復着床不全の治療に有効かは明らかになっていないため、今後さらなる研究が必要です。

【参照生殖医療ガイドライン CQ】

CQ32：反復着床不全に Th1/Th2 測定は推奨されるか？